

キャラクター名 プレイヤー名

シンドローム	ブラム=ストーカー サラマンダー	ワークス	UGNチルドレンA	カヴァー	高校生
オプション		年齢	17歳	性別	男性
覚醒	死	衝動	闘争	初期侵食率	34%
出自	資産家	経験	長期入院	邂逅	秘密：ローザ・パスカヴィル

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	30
肉体	3	1	0			4	行動値	6
感覚	2	0	0			2	(非装備時)	6
精神	2	0	0			2	戦闘移動	11
社会	1	0	0			1	全力移動	22

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	4		射撃			RC	1		交渉		
回避	4		知覚			意志	3		調達		
運転：			芸術：			知識：			情報：	UGN	2
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
弄火槍：散型		0				回避。2+3
灰氷針：尖型		0				攻撃。マイナーで4、ミジャーで1+3+6。
饗血鎌：流型		0				範囲攻撃。マイナーで4、ミジャーで1+3+6+7。
	白兵	4r+2	6	7		4の基礎ステータス。

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品
コネ：噂好きの友人
コネ：UGN幹部

合計装甲： 0 合計回避： 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	消費	消費
戦闘用人格	P	N		
	P 友情	N 侮蔑		
御伽刃カンナ	P 尽力	N 劣等感		
	P	N		
ハート・ロッカー	P	N		
我野 従道	P	N		
ディック	P	N		

最大財産P: 2 残り財産P:

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果：	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果：	コスト分のHPで復活							
コンセントレイト	2	2	ミジャー	-	-	シンドローム	-	
効果：	判定C値-[SL]。下限値7。							
リフレックス	2	2	リアクション	至近	自身	シンドローム	-	
効果：	判定C値-[SL]。下限値7。							
炎神の怒り	3	3	ミジャー/リア	-	-	[肉体]	-	
効果：	判定D+[SL+1]。HP-3。							
氷炎の剣	1	3	マイナー	至近	自身	-	-	
効果：	<白兵>用武器作成。							
鮮血の一撃	3	2	ミジャー	武器	-	<白兵>	-	
効果：	<白兵>攻撃D+[SL+1]。HP-2。							
血の宴	2	3	ミジャー	-	範囲(選択)	シンドローム	-	
効果：	対象を範囲(選択)に変更。シナリオSL回。							
不死者の恩寵	2	5	クリノナップ	至近	自身	-	-	
効果：	HPを[SL+2]D+[肉体]回復。							
冥府の棺	1	2	オート	至近	自身	-	-	
効果：	暴走以外のバステ1個回復。							
氷の回廊	1	1	マイナー	至近	自身	-	-	
効果：	飛行状態で戦闘移動。距離に+[LV×2]。							
熱感知知覚	★	-	ミジャー	至近	自身	-	-	
効果：	熱で分かる目星+追跡+心理学的な。							
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								

「ヨロシク願ひします、…ハハ、ちょっとナーバスなりますね」

<概要>

新設されたUGN垂備須支部の初期配属を任されたチルドレン。3年ほど前に国内の別支部と接触・加入し、地道に実戦経験を積み現在に至る。市内の私立高校に通う2年生であり、一人称は僕、二人称は君・あなた、三人称は彼・彼女など。
コードネーム：“ムーラン”…① “moulin” フランス語で風車の意。② “木蘭(Mulan)” 中国伝承に登場する男装で出兵した女性の名。

<生い立ち>

オランダ人の父と日本人の母を持つハーフ。本名は“Wakaba van der Molen”であり、直訳すると“風車がある所のワカバ”。そのまま“風車若葉”を日本名として通している。
広大な農地を所有する家の次男として生まれ、家族仲にも恵まれた幸福な幼少期を送ってきたが、10歳の頃に現代医療を以てしても治療法の確立していない難病を患う。僅かな希望に縋り最先端の専門設備が整った東京の病院に入院するも、病状が回復することはなく数年間を生まれ故郷から遠く離れた病床で過ごした後にくくなる。……が、神経系から侵され徐々に全身の自由を奪われる日々の中で膨れ上がった、「ただ、もう一度」という願いが彼を自覚めさせた。もう一度、具体的に何をしたいかは分からない。いや、したいことなど挙げきれない程あったからこそ自覚めたのかもしれない。とにもかくにも蘇生という科学的に在り得ない結果はすぐにUGN日本支部の知るところとなり、広範囲な情報封鎖を敷かれるに至った。本人の希望もあり、家族にも「静養のため専門の設備が整い祖父母もいる日本に渡っていたが、順調に回復した。今は医者になるため日本で学業に励んでいる」という様に記憶措置を施している。その後正式にUGNにも所属し、教官の御伽刃カンナとも出会う。オーヴァードの存在や能力を使用するということ、FHのことなどを学び対オーヴァード用戦闘術を習得。だが、「生きたい」という本能に近い願望から目覚めた彼は、自分が傷つくことは元より大切な家族の日常を守る為とはいへ他人を傷つけることにも不向きだった。どれだけ模擬戦闘を積み技術を上げてても、実戦になれば槍先の迷いを完全に打ち消すことは出来なかった。そんな折、自分を庇った御伽刃が死に瀕する重傷を負った。いつだって根気強く接してくれた彼女への情けなさと、目の前で見知った人間が血の海に倒れ伏す光景への恐怖。頭はくらくらするばかりで、身体もきつく縛られたかのように動かさなかった。命が失われる可能性ばかり平然と転がっていることが怖くて。怯えては自身を憐れむ自分への嫌惡に、願った通りに呼吸を再開した筈の肺を握りつぶされる心地がして。そんな苦味を二度と味わわないために打開策を模索した結果、行き着いたのが人格の分離による感情の制御だった。一部オ